

# ケンオー・ドットコム



## 特集号

# 三条市長に国定氏再選!

### リターンマッチは現職が前回を大きく上回り、ダブルスコア近い大差で圧勝!



『およろうの日を  
決して忘れない』

三十一日投票開票が行われた三条市の市長選挙は、現職の国定勇人氏(38)と無所属の現職と元三条市議の山井伸泰(63)の前回と同じ顔合わせで激しい一騎打ちとなった結果、国定氏が四年間の実績と現職の強さを生かし、予想を上回る大差で山井氏に勝利した。山井氏は、国定氏が進める小中一貫教育、小中一体校を争点化し、『反国定』を旗印に選挙戦を展開しただけに、今回の結果を民意として国定氏のこれからの市政運営には大きな追い風となる。

「三条市のさらなる発展のため、そして、皆さま方の本当の意味での幸せを実現するために、わたしも一生懸命努力をしまいたいと思っております。きょうの日を決して忘れずに、これから先の四年間、皆さま方とともに美しい、明るい、楽しい三条市をつくっていきたい」と応援してくれた支持者に誓った。

するに至る騒ぎに。また、市内の企業もどちらの候補を推すか態度を鮮明にすることを迫られ、業界を二分する激しい選挙戦となった。

短期決戦の選挙戦に入る。それまでの政策を中心とした訴えから一転、いかに三条を愛しているか、さまざまな誹謗中傷の中でも人を信じることの大切さをと説き、感情に訴えた。

「三条市のさらなる発展のため、そして、皆さま方の本当の意味での幸せを実現するために、わたしも一生懸命努力をしまいたいと思っております。きょうの日を決して忘れずに、これから先の四年間、皆さま方とともに美しい、明るい、楽しい三条市をつくっていきたい」と応援してくれた支持者に誓った。

現職有利と言われるなかでも、山井陣営は出馬表明や後援会の事務所開きを国定氏より後に行い、いずれも国定氏を上回る動員数でスタートダッシュに成功した。しかし、選挙戦に入る前に息切れたのか、総決起集会ころから勢いに陰りが見えた。

国定氏が現職の強みを生かしてこの先、四年間の明確な施策を示したのに対し、山井氏は具体的なビジョンに乏しかった。山井氏が具体的に示したビジョンも、雪国には不利と思われるソーラー発電の推進だったり、財政的に市民の多くが難しいと考える三条高校跡地への文化施設の建設だったり、支持層の拡大にはつながらず、終わってみれば大敗によって国定市政に「民意」のお墨付きを与える結果になったとも言える。

国定氏は、「重点戦略(五つの徹底)、重点戦略遂行に必要な三つの基盤」をマニフェストに掲げて出馬。一方で小中一貫教育やパルム問題をめぐり、国定氏を独善的で地元をないがしろにしているなどとする反対派は、対立候補の擁立を進めたが、難航。結局、前回選挙で国定氏に小差で涙をのんだ山井氏が名乗りを上げた。

一方で国定陣営は最初のうちこそ山井氏の勢いに押されて焦りを感じられることもあったが、逆に危機感をおおられ、結果的に現職有利のムードが支配的だった陣営の引き締めが奏功。尻上がりに運動員の士気が高揚、熱気が高まった。

象徴的だったのが、二十五日に燕三条地場産業振興センターで開いた個人演説会。同センターではこれまで見たこともないような三、〇〇〇人を超す支持者を集め、三十八分にも及ぶ国定氏の大演説が支持者をくぎ付けにした。

三条市長選挙開票結果			
当	国定 勇人	38	37,035
	山井 伸泰	63	19,071